

かんぽう

元総社

館報元総社 通刊第 496 号
 令和 2 年 2 月 15 日発行
 編集発行 元総社公民館
 /元総社市民サービスセンター
 前橋市元総社町 3-1-1
 電話 027-251-2243
 F A X 027-255-0361

元総社地区の人口

男 8,416 人 (-41)

女 8,587 人 (-15)

計 17,003 人 (-56)

世帯 8,520 世帯 (-47)

令和 2 年 1 月末現在

市民課調べ () 内は前月比増減

前橋市ホームページ <http://www.city.maebashi.gunma.jp/>

前回元総社公民館報 1 月 15 日号について、以下のとおり誤りがありました。訂正させていただくとともに紙面にてお詫び申し上げます。誤 (4 面) 上毛かるた大会記事 低学年優勝 RAYC ⇒ 正 RAYU

【1月12日】元総社ふれあいまつり開催 お正月催事を地域で楽しむ

1月12日(日)、元総社公民館(元総社市民サービスセンター)を会場に、第33回「元総社ふれあいまつり」が開催されました。

当日は、気温が低い一日となりましたが、多くの方にご来場いただき、会場は大変賑わっていました。

公民館ホールでは、子どもたちや保護者の方々ほか、来賓臨席のもと、9時30分から式典が開催され、日頃から学校や家庭、地域で活躍する子どもたちを称える「善行表彰」が行なわれました。

式典終了後、11時30分からアンサンブル響の演奏会が行われ、子どもから大人まで多くの方が演奏会を楽しみました。

各イベントでは、凧作りやコマ作りをはじめ、おしるこの販売、繭玉の配布、餅つき等、お正月ならではの催事が行われました。他にも、ぬりえや輪投げ、マジックバルーン等、子どもたちに人気のアトラクションが実施され、会場は多くの子どもたちで賑わいました。

また、小中学生ボランティアのみなさんの活躍により、大盛況のうちに終わることが出来ました。

今回の開催にあたり、準備・運営にご協力いただきました地域のみなさまに深くお礼を申し上げます。



↑ 学校生活や地域行事などで活躍した小中学生を表彰



↑ アンサンブル響のみなさんによる演奏会では、有名な曲目リストに子どもから大人まで多くの方が生演奏を楽しみました。



↑ ミズキの枝と紅白のまゆ玉を配布



↑ 大行列の模擬店準備は大忙し!



↑ 大きな鍋でとん汁を作りました。



↑ 輪投げコーナーも人気でした。見事3つとも大成功!



↑ コマに好きな色を塗って仕上げました。



↑ 凧作りに挑戦! 上手にできたかな?



↑ お花など色々な形のバルーンを配布



↑ 輪ゴムと割りばしで鉄砲づくり



↑ 中学生が力いっぱいお餅を、きな粉とあんこで味付けて、みなさんに配布しました。

今月の
主な
お知らせ

- 2ページ 【3月10日】健康づくり講演会「いつまでも自分で食べて歩いて考える!」開催
- 3ページ 【1月30日】自主グループ連協研修会で充実したライフプランについて学習
【2月17日~3月16日】確定申告期間、元気21に署外申告会場を開設
- 4ページ 【2月24日】元総社地区郷土かるた大会 延期して開催

【3月10日】健康づくり講演会開催 老化予防でいきいき生活

「いつまでも自分で食べて歩いて考える！～アンチエイジングライフのススメ～」

3月10日(火)、元総社公民館(市民サービスセンター)を会場に、元総社地区環境保健推進協議会と元総社地区保健推進委員会による「健康づくり講演会」を開催します。今回は前橋温泉クリニック 院長 岩波 佳江子 先生(医学博士)を講師にお招きし、老化と疾患を予防するアンチエイジングをテーマに「いつまでも自分で食べて歩いて考える！～アンチエイジングライフのススメ～」と題した講演会を開催します。お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。事前申込不要、参加無料です。

○日 時 3月10日(火) 13時30分から

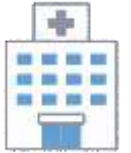
○会 場 元総社公民館(市民サービスセンター) ホール

※駐車台数に限りがありますので、自転車、徒歩、乗り合わせでのご来場にご協力ください。

○問い合わせ 元総社市民サービスセンター(元総社公民館)(電話 027-251-2243)

《岩波 佳江子先生 プロフィール》


群馬県前橋市生まれ。1999年獨協医科大学医学部卒業、2005年同大学院医学研究科整形外科学卒業、関連病院勤務を経て2006年7月老化と疾患を予防するアンチエイジング医療を臨床の現場で実践すべく前橋温泉クリニック(内科、漢方内科、美容皮膚科)を開業。生活習慣病の予防や治療のほか、ダイエット外来ではひとりひとりにあった食事、運動指導を実践。QOL(Quality of life; 人生の質)を上げるための点滴療法、美容皮膚科治療、サプリメント処方などもいち早く取り入れた。



リサイクル庫・小型家電回収ボックス等 正しく利用しましょう

【元総社公民館のリサイクル庫などのご利用案内】

多くの方が気持ち良く利用出来るよう、ご理解とご協力をお願いします。

名称	場所	回収	平日	土日・祝日
リサイクル庫	屋外 駐車場南側 (プレハブ庫)	◎段ボール 必ず平たく畳んでください。 ◎古着 袋に詰めてください。 ◎新聞、古紙、段ボール ひもで十字に結んでください。 (結ばないと荷崩れの原因となります。) ●倉庫に入れる際は、 <u>奥から置き、上に積み重なるように置いてください。</u> (手前に片寄るとドア付近が遮られ、ドアの故障につながります。)	 8時30分～ 17時15分	10時～17時
小型家電回収ボックス	屋内 公民館入口 窓口反対側	<u>回収ボックスの15cm×30cmの口を通るもののみ。</u> ●電池類は回収出来ません。		
廃油回収ボックス	屋内 公民館入口 玄関ロビー	◎容器に詰めた廃食用油 ・植物性食用油のみです。 ・ヤシ油・ラード・牛脂等は不可 ●ペットボトル等の容器に詰め、こぼれない状態で置いてください。		回収していません

登録型本人通知制度をご利用ください

登録型本人通知制度は、代理人や第三者の請求で住民票や戸籍謄抄本などが交付されたときに、本人に通知する制度です。この制度を利用するには、事前に登録が必要です。詳しくは市役所市民課にお問い合わせいただくか、本市ホームページをご覧ください。

《対 象》本市に住民登録をしているか本籍のある人

《申し込み》申込書と官公署発行の顔写真付き身分証明書などを用意し、市役所市民課へお越しください。

郵送の場合は、申込書と官公署発行の顔写真付き身分証明書の写しが必要です。

《問い合わせ》前橋市役所市民課証明交付係(電話 027-898-6114)(8時30分～17時15分)

【1月30日】グループ連協研修会で充実したライフプランについて学習

1月30日(木)、元総社公民館(市民サービスセンター)視聴覚室を会場に、公民館利用自主グループ連絡協議会(グループ連協 石井宏樹会長)では、会員を対象に「人生100年時代『これからの暮らしとお金の話』」と題して研修を行いました。

野村證券(株)から講師をお迎えし、これからの暮らしの中で必要となる経費や、今後の経済予想、相続での重要事項等について確認し、それらの対応策として効果的な資産運用方法を学習しました。平均寿命が延び、人生100年時代といわれる現在、ライフプランを見直し、充実した生活のために備えておくことの重要性を実感したようです。



↑今後の家計について考える良い機会となりました。

【2月～3月】確定申告期間、元気21に署外申告会場を開設

2～3月は例年のとおり、所得税の確定申告期間です。前橋税務署では期間中、K'BIX元気21まえばし(前橋プラザ元気21)(本町2-12-1)1階にぎわいホールに署外確定申告会場を開きます。



●開設期間 2月17日(月)から3月16日(月)まで

※土曜日、日曜日、祝日を除きます。ただし、2月24日(月)、3月1日(日)は開場します。

※上記期間、前橋税務署庁舎(大手町2-3-1 合同庁舎内)では申告相談を行っておりません。

●受付時間 9時から16時まで

※申告書の作成に時間を要しますので、お早めにお越しください。

※会場は大変混雑するため、長時間お待ちいただく場合や受付を早めに締め切る場合があります。

●問い合わせ 前橋税務署 電話 027-224-4371 (自動音声がかかります。「0番」を選択してください。)

※会場施設(元気21)への直接のお問合せはご遠慮ください。

◇国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」を利用すれば、ご自宅で確定申告書等が作成できます。e-tax で送信(事前準備が必要)、または、書面で印刷して送付のいずれかでご提出ください。

◇市内各地区市民サービスセンター等でも、一般用の確定申告用紙を配布しておりますが、枚数が大変限られています。お手数ながら、在庫終了後は、用紙を税務署または元気21の申告会場で直接お求めいただくか、ご自宅のパソコンから国税庁ホームページをご利用いただき、ご自宅で確定申告書を作成し、印刷するなどのご対応をお願いします。

【国税庁 確定申告書等作成コーナー <https://www.nta.go.jp/tetsuzuki/shinkoku/shotoku/kakutei.htm>】

図書館分館だより

前橋市立図書館 元総社分館 電話 027-253-7373 (元総社公民館 西側)

開館時間 平日 10時～18時/土日祝日 10時～17時(月曜休館)

●2～3月の休館日 2月17日(月)・25日(火)・3月2日(月)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・30日(月)

【新刊案内】12月21日～1月20日に受入分の一部です

◎一般書 「ドイツのことば図鑑」野口 真南/「聡乃学習(サトスナワチワザナラウ)」小林 聡美

「老人初心者の覚悟」阿川 佐和子/「障害マストゴーオン!」福本 千夏

「清く貧しく美しく」石田 衣良/「オカシナ記念病院」久坂部 羊/「祀どもえ」辻原 登

「インタビューズ」堂場 瞬一/「忍び恋」藤井 邦夫/「落語 DE 古事記」桂 竹千代

◎児童書・絵本 「もぐらのほったふかい井戸」安房 直子/「みらいおにぎり」桧山 タミ

「いぬのサビシー」サンディ・ファッセル/「小学生にもとれる資格・検定カタログ」鈴木 秀明

「小学校では学べない一生役立つ整理力」齋藤 孝/「ぶぶるんふるふる」まつもと さとみ

「かいけつゾロスターたんじょう」原 ゆたか/「なんだろうなんだろう」ヨシタケ シンスケ

「ぼく、仮面ライダーになる!ゼロワン編」のぶみ/「なぜ?どうして?みぢかなぎもん 1年生」丹伊田 弓子



↑二次元バーコードを携帯・スマホで読み取り、図書館ホームページへ(蔵書検索できます)

【2月2日⇒2月24日】郷土かるた大会 延期して開催

地域づくり協議会 歴史伝統部会による「郷土かるた大会」は、2月2日(日)、元総社公民館(市民サービスセンター)で開催予定でしたが、インフルエンザ流行による安全措置のため、延期となりました。代わって、2月24日(月)の開催を予定しています。ぜひご参加ください。

◇開催日時 2月24日(月) 9時～12時

◇場所 元総社公民館(市民サービスセンター)ホール

◇問い合わせ 元総社市民サービスセンター(公民館) 電話 027-251-2243

【3月1日まで】地区内小中学生の人権作品を公民館内に展示

元総社公民館では、地区内の人権意識向上を目的に、毎年小中学校のみなさんの人権作品を展示しています。

今年度も、元総社中学校と地区内3小学校代表のみなさんから、標語や作文など、多くの作品をお預かりしました。こちらは現在、元総社公民館の廊下に展示しています。小学校1年生から中学校3年生まで、各学年のみなさんによる素晴らしい作品が並んでいます。3月1日(日)まで展示していますので、ぜひご覧ください。

この度の作品展示にご協力いただきました関係者の方々にお礼を申し上げますとともに、地域のみなさまには、今後とも元総社地区の人権啓発活動にご協力をお願い申し上げます。



↑思いやりの言葉を書いたメッセージカードが、お花に水をあげるように並べられています。

地域づくり協議会 歴史伝統部会 ○かるたから知る元総社 (第30回)



宮の辺に 総社の神の ほこらあと

宮鍋様 (宮之辺) は粟島町と殿小路町の間にあって、昔、上野国司がこの地で政治を行っていたところに建てられたといわれ、今は石宮があります。

戦国時代、武田氏に蒼海城は攻められ、総社神社も兵火で炎上したが、いい伝えのような奇蹟により現在の地に総社神社は移築された。

(本文は 元総社郷土かるた「み」の読み札より)

この宮之辺の地は「総社神社(明神様)」の始まりの地といわれ、その時代は、紀元前、崇神(すじん)天皇の時代に遡るのだといえます。

時代は室町となり、上野守護代となった長尾氏は、宮之辺の地にあった「総社神社(大明神)」を現在の地に移し、「その跡地」と平安時代末期に兵火により焼失した「上野の国府の跡地」を合わせた一帯に蒼海城を築城したといえます。

永禄9(1566)年、蒼海城は武田軍により落城しましたが、その後、その跡地に鑄物を業とする人々が定住したといえます。「宮鍋様」の宮鍋は、宮之辺が変化したのではなく、鑄物師が崇敬(すうけい)する製鉄の神様、金山毘古神(かなやまひこのかみ)と金山毘賣古神(かなやまひめのかみ)を合祀したからだろうといわれています。鍋の字は、鑄物師の「氏神様(うじかみさま)」によく使われている文字なのです。宮鍋様は、大正時代の頃「総社神社」に合併されましたが、昭和6年、今の地に戻ったと、境内にある「由緒」に記されています。



絵図(村木さん(2区))

